

## ブルネイ初の女性映画監督来日！ 青春ラブロマンス&アクション映画『ドラゴン・ガール』 3月31日（金）無料上映・トーク開催！

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）アジアセンターは、ブルネイから映画監督のシティ・カマルディン氏（Ms. Siti Kamaluddin）をお招きし、3月31日（金）に東京都新宿区の四谷区民ホールにて監督作品『ドラゴン・ガール』の無料上映・トークを開催します。



カマルディン氏は、ブルネイ初の女性映画監督です。本上映作品は2014年に制作されたブルネイ初の国際的な長編映画で、数多くの映画祭のコンペに参加し、スイスのヌシャテル国際ファンタスティック映画祭で賞を受賞するなど、高い評価を得ています。映画では格闘技シラットを通して成長していくブルネイの女子高校生の姿を描き、アクションシーンはジャッキー・チェンの武術監督チャン・マン・チンが監修。息をつかせぬ本格的アクションが満載の青春ラブロマンス&アクション映画です。また、インドネシアで人気を博しているイケメン俳優、レザ・ラハディアンも父親役で出演しています。本編上映後のトークでは松下由美氏（モデレーター・通訳）と共に監督の映画やブルネイについて読み解いていきます。

本上映会は、国際交流基金アジアセンターがASEAN10ヶ国から様々な分野の文化人を招へいする「アジア・文化人招へいプログラム」の一環として実施するものです。また、アジアセンターでは今回の上映会のみならず、今後定期的に東南アジア映画を紹介する上映会を実施していく予定です。

この機会に、ぜひ貴媒体でのご紹介ならびに当日のご取材についてご検討くださいますよう、お願い申し上げます。

### ■『ドラゴン・ガール』上映会 概要

- 【日 時】 2017年3月31日（金）18:45開演（18:15開場）
- 【会 場】 四谷区民ホール（新宿区内藤町87番地）  
東京メトロ丸の内線「新宿御苑前」2番出口（大木戸門）から徒歩5分  
都バス「品97」（新宿駅西口－品川車庫）新宿一丁目下車
- 【言 語】 上映：マレー語 / 日本語字幕  
トーク：英語 / 日本語逐次通訳
- 【参加費】 入場無料、予約不要、定員300名（※先着順）
- 【主 催】 国際交流基金アジアセンター
- 【配給協力】 108 Media Corp

- 主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 アジアセンター文化事業第1チーム（担当：滝本、村田）  
Tel: 03-5369-6140 / E-mail: Amiko\_Takimoto@jpf.go.jp
- 取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金 コミュニケーションセンター（担当：熊倉、諏佐）  
Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

【『ドラゴン・ガール』ストーリー】

厳格な父に男手ひとつで育てられた自由奔放な女子高生ヤスミン。ある日、初恋の相手アディがシラット（東南アジア発祥の伝統武術）国際大会で優勝し、町に帰ってくる。しかし、私立高校のシラット部の女子チャンピオンであるデヴィがアディに急接近していく。アディを振り向かせたいヤスミンは、公立高校の弱小シラット部に入部、3週間後のシラット大会にエントリーを果たす。部員3人、コーチも頼りない状況の中、はたしてヤスミンは大会でライバルを倒し憧れの彼を振り向かせることはできるのか。

2014年/ブルネイ/110分/マレー語/日本語字幕/HDCAM 上映

監督：シティ・カマルディン 出演：リヤナ・ユス、レザ・ラハディアン、メンタリ・デ・マレール、アルフィン・プトラ他

【トーク登壇者】



**シティ・カマルディン**（『ドラゴン・ガール』監督）

ブルネイ初の女性映画監督。ブルネイの若者向け番組の放送作家、司会としてキャリアをスタートさせ、オーディション番組の司会を務める。その後、制作会社 Origin Artistic Management を設立し、テレビCMやドキュメンタリーを制作、また映画制作も手がけ国内の興行で成功を収めている。



**松下由美**（モデレーター・通訳）

映画プレゼンター／キュレーター／プロデューサー。メディアと映画のコンサルティング・製作に携わる（『99分、世界美味めぐり』東京撮影ライン・プロデューサーなど）。映画を中心に司会・通訳・執筆やキュレーションを行う。2009・2012年に開催した Sintok シンガポール映画祭ディレクター。

<国際交流基金アジアセンターについて> <http://jfac.jp/>

独立行政法人国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、全世界を対象に総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターは2014年4月に設置され、ASEAN諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援しています。日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通して、アジアにともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。

●主催者・本事業に関するお問い合わせ： 国際交流基金 アジアセンター文化事業第1チーム（担当：滝本、村田）

Tel: 03-5369-6140 / E-mail: Amiko\_Takimoto@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ： 国際交流基金 コミュニケーションセンター（担当：熊倉、諏佐）

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp